



平成 30 年 11 月 吉日

各 位

特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク
理事長 吉田恒雄

子ども虐待防止オレンジリボン運動

第 28 回シンポジウム開催の
チラシ送付について

拝啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 31 年 1 月 27 日に開催いたします「第 28 回シンポジウム」について、ご案内いたします。

今回のシンポジウムは、「精神疾患のある親の育児を支える家族まるごと支援」と題し、当事者、配偶者、成人した子どもの立場から、体験を語ってまいります。

また、支援する側と支援される側、両方から見た支援のあり方、熟達者の支援技術から支援のコツについてなど、専門家によるご講演をいただきます。

詳細については、弊会ホームページをご覧ください。(要・事前申込でございます。)
関係各所にも周知していただけますと幸いです。

児童虐待防止に関心をもつさまざまな方のご参加をお待ちしております。

敬具

精神疾患のある親の育児を支える 家族まるごと支援



親が精神疾患を患っていると、症状や障がいのために適切な養育ができないことがあります。子ども虐待の担当者が精神疾患のある親に対応しようとしても、うまく信頼関係を築けず、介入拒否に陥ることもしばしばです。今回は、熟達者の支援技術から支援のコツをご紹介します。また、当事者、配偶者、成人した子どもの立場から、体験を語ってもらいます。支援する側と支援される側の両方から支援のあり方を考えていきたいと思います。

日時 平成31年 **1月27日** (日) 12:45~16:30 (開場 12:15)

会場 エッサム神田ホール 2号館 / 4階・大会議室 (2-401)

東京都千代田区内神田 3-24-5 ★「2号館」ですので、お間違えのないようお越しください。

●事前申込制 (定員 150名) ●託児あり ●参加費無料

基調講演
(80分)

「精神疾患のある親への育児支援 - 熟達者の支援技術と当事者の語りに学ぶ -」

かぎやま まさこ
蔭山正子 氏

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
公衆衛生看護学教室 / 准教授 / 保健師)



事例報告
(60分)

「精神疾患のある親としての体験」

精神疾患のある親の立場から (円グループ Parent Child Group)

「精神疾患のある親に育てられた子どもの体験」

小林結奈 氏 (精神疾患の親をもつ子どもの会・こどもびあ)

「精神疾患のある人の配偶者の体験」

桜野はな子 氏 (仮名) (精神に障害がある人の配偶者・パートナーの支援を考える会)

パネルトーク
(40分)

～基調講演と事例報告を受けて～

コーディネーター **蔭山正子** 氏

参加申込みについて

- 電子申請フォームより、お申込みください。
右のQRコードを読み取るか、または下記URLにアクセスし、入力フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。
<https://www.kokuchpro.com/event/e9f385a7129a26f7fb5667de083de835/>
(当団体HPのシンポジウム案内ページにもURLをご案内しております)
★定員になり次第、締め切りとさせていただきます。



- 託児を希望される方は**1月17日(水)**までに以下事務局あてにメールでご連絡ください。

<問い合わせ先> 認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク 事務局
〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-45-10 KIT7A17-4B
E-mail info@orangeribbon.jp Tel 03-6380-6380



アクセス

JR神田駅 東口・北口・西口 徒歩 2分
東京メトロ銀座線 神田駅 4番出口 徒歩 2分
東京メトロ丸の内線 淡路町駅 A1 出口 徒歩 5分
都営新宿線 小川町駅 A1 出口 徒歩 5分